

2013年 NAVI 事業報告書

2004年から開催された競技者育成事業は2008年に「NAVI」と名称を改め、展開しており、これまでに延べ3,000名以上が参加しています。

ミニム・カデ年代の育成システムとして定着し、一定の効果をおさめています。今年度は下記のような内容で実施しました。

1. 目的

- ①ミニム・カデ年代の全国の優れた能力を有する競技者の発掘・育成する
- ②日本フェンシング協会の強化方針や指導方針等についての周知徹底を図る。

2. 指導テーマ 「フラーズ ダルムを理解する」

フラーズ ダルム (Phrase d' arme) はフルーレの技術を学んで行く上で土台となるものであり、これ基本的な剣の操作技術と並行して身につけて行くことが必要な知識です。フラーズ ダルムを理解することに、より単に剣の攻防だけでなく準備動作(プレパレーション)を有効に活用し「攻撃権」を獲得できるようになります。

また、ナショナルチームの外国人コーチから指摘を受けている「指の使い方」についても具体的な指の動かし方や腕の伸ばし方についての指導を行ないます。

3. 活動

(1) ミニムキャンプ

①日程、参加者等

カテゴリー	期間	会場	競技者
小学5年	8/9～11	味の素ナショナルトレーニングセンター	29
小学6年	8/2～4	味の素ナショナルトレーニングセンター	47
中学1年	7/28～30	味の素ナショナルトレーニングセンター	41
			117

②指導内容

実技指導、チームビルド、体力測定、栄養指導、スポーツ教育



(2) カデブロックキャンプ

①日程、参加者等

ブロック	担当者	期間	会場	講師	参加者
九州	笹田 健一 (長崎県)	11/30,12/1	諫早商業高校	池端 花奈恵	35
中国	高橋 一則 (広島県)	11/15~17	盈進高校	菅原 智恵子	27
四国	池上 孝 (高知県)	11/8~10	高知市総合体育館	福田 祐輔	65
近畿	好川 裕士 (大阪府)	12/14,15	関西大学 高槻キャンパス	岡崎 直人	32
北信越	遠藤 聡一 (新潟県)	12/14,15	聖籠町総合体育館	橋本 寛	20
東海	青木 伸行 (岐阜県)	2/1,2	朝日大学	岡崎 直人	34
関東	赤池 廣 (山梨県)	12/21~23	甲斐清和高等学校	青木 雄介	48
東北・北海道	松元 隆 (山形県)	11/16,17	米沢市体育館	橋本 寛	22
					283

②共通テーマの具体的な指導

テーマ	Phrase d'ame (ワラズダルム)を理解する	
目的	フルーレの技術を学ぶ上で、その土台となるのがPhrase d'ame (ワラズダルム)です。Phrase d'ame (ワラズダルム)とは「攻撃権」を獲得するための剣と剣と攻防(遣り取り)であり、試合で勝つためにはこれを理解することが不可欠です。そのためには、単に剣の攻防だけでなく準備動作(プレパレーション)を有効に活用して「攻撃権」を獲得できるようにすることが大切です。	
内容	1-① 剣の持ち方の説明	親指をヒルトの真上に置く ※ヒルトの角を持つと剣の操作が制限される
	1-② 指を有効に使った剣の操作	親指をヒルトの真上に置く ⇒親指と人差し指を使って剣を操作する(上下・左右・円など) ⇒5本の指を使って剣を操作する(上下・左右・円・名前など)
	2-① フリーファイティング	審判器を使わずノーマルファイティング ⇒1分間×3回 約10mの距離で行なう
	2-② フリーファイティング	審判器を使わずノーマルファイティング ⇒1分間×3回 約4mの距離で行なう
	2-③ フリーファイティング	審判器を使わずノーマルファイティング ⇒1分間×3回 約4mの距離で剣の接触やコントラタックはなし
	2-④ 試合の説明	勝つためにはどうすればよいかを考えさせる ⇒アンリニューした状態で前に入る
	3-① Phrase d'ame (ワラズダルム)の説明	腕を伸ばして相手の有効面を脅かしている状態が攻撃権を持っていることになる。 ※腕を伸ばして前に出ている状態がアタック 距離を詰めるための前進はアタックではない
	3-② フリーファイティング	審判器を使わずノーマルファイティング ⇒1分間×3回 約10mの距離で行なう
	3-③ フリーファイティング	審判器を使わずノーマルファイティング ⇒ワラズダルムを考えた試合運びを考える
	4 まとめ	Phrase d'ame (ワラズダルム)の確認

(3) カデ中央キャンプ

2月28日(金)から3月2日(日)まで味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて8か所で開催されたカデブロックキャンプに参加した283名の中からの推薦者と育成普及委員会推薦者(エリートアカデミー候補、昨年度推薦を受けていた者)が参加して行われた。

N0	ブロック	氏名	性別	所属	学年
1	東北・北海道	高橋 七美	女	川俣町立川俣中学校	中3
2	北信越	原 朋子	女	富山パレスフェンシングクラブ	中1
3	関東	小田 隆介	男	習志野台中学校	中2
4	関東	黄田 佳倫	女	ワセダクラブ	中1
5	関東	大柴 杏香	女	甲斐清和高等学校	高2
6	東海	森 皓己	男	愛知工業大学名電中	中3
7	東海	井上 莉緒	女	岐阜県立羽島北高	高1
8	近畿	松村 侑馬	男	和北ジュニアフェンシングクラブ	中3
9	近畿	栗田 真生	男	上宮中学校	中3
10	中国	濱中 峻匡	男	大安寺中等教育学校	高1
11	中国	佐々木 拓海	男	山口県立岩国工業高等学校	高1
12	中国	森多 諒	男	柳井市立柳井中学校	中1
13	四国	白峰 杏香	女	愛媛県四国中央市立三島南中学校	中3
14	四国	登尾 早奈	女	愛媛県四国中央市立三島南中学校	中3
15	九州	宮尾 匡	男	県立鹿児島南高等学校	高1
16	九州	大町 麻悠里	女	県立諫早商業高等学校	高1
17	九州	鷺山 伊織	男	県立鹿児島南高等学校	高2
18	推薦	葉 ローランド秀峰	男	福岡タレント発掘【A7期生候補者】	小6
19	推薦	永野 雄大	男	水戸市立第三中学校【A7期生候補者】	中3
20	推薦	松崎 麻美	女	県立諫早商業高等学校	高2

(4) 地域タレント合同研修会

全国の地方自治体を中心として行なわれている「タレント発掘事業」を連携を図り、フェンシングへの興味関心を高める。

①日時 8月11日(日)から13日(火)

②参加者 14名

- ・山形県(山形県スポーツタレント発掘事業)
- ・埼玉県(埼玉県ジュニアアスリート発掘育成事業)
- ・和歌山県(和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト)

③主な内容

- ・フェンシングの実技指導(講師:青木雄介、長良将司)
- ・スポーツ教育プログラム(講師:相馬隆浩)
- ・オリンピックによる講演(講師:菅原智恵子)